楽しい夏休みに
夜間の外出は
父兄同伴で九時まで

いよ〳〵夏休みです。子ども達には一番嬉しいお休みですが、家庭にとつては、いろ〳〵と気を遣うことの多い期間です。

休みの始まりは七月二十一日からが、二小、田子浦小、岩小、岩中、二十二日からが一小と富士中二十三日からが田子浦中です。

第二学期は九月一日からです。

この約四十日間は、主として家庭に在つて過すわけでありますが、どうか事故もなく、病気もせず、元気で、お宅の方と相談したり、自分でよく考えたりして決めた日々の生活目課を、しつかり守つて立派に暮らせますようにと心から願つている次第です。

さてこの期間中における児童生徒の校外生活指導については、各学校からの注意事項にもとづいてどのお宅でも、十分御留意のことと存しますが、次に記す事項については格別の御協力をお願いいたします。

◇**日没以後の外出は禁止**
但し学習に通う者は然るべき証明書を所持のこと。

◇**祭典に限り夜間外出は九時**
但し必ず父母又は近隣者附添のこと。遠方の祭典へは、なるべく行かぬよう。

◇**就床時刻は保健上九時**
この時刻に消防本部のサイレンを三千秒間ならします。

◇**白、赤の三角旗**
水難事故防止のため、田子浦海岸での水泳の可否を知らせる旗です。
白旗—水泳可のしるし。
赤旗—水泳不可のしるし。
田子浦中、小に掲げます。この旗をよく注意して見て下さい。

◇(1)**田子浦海岸の水泳場所**
小須、新浜地区の指定位置（標識のある所のみ）

◇(2)**水泳要注意並びに禁止場所**
A 前田新田地区海岸
B 新浜入道水門附近
C 三四軒屋地区（どんぶり河口）
D 富士川

（教育委員会）

事業消費資金に
恩給担保の貸付
国民金融公庫で取扱い

国民金融公庫は中小企業者への事業資金の貸付のほか年金恩給等の受給者に対し恩給担保貸付業務を行なつております。

◇**借受入の資格**は年金として支給される恩給等を受け、その給与金をすでに一回以上受け取つている方で事業資金又は消費資金を必要とされる方であります。

◇**貸付の限度**は恩給等実支給額（手取額）の二年半分以内、ただし一人につき事業資金の場合は二十万円以内、消費資金は十万円以内となつております。

◇**貸付利率**は年六分（月利五厘、日歩一銭六厘）

◇**返済方法**は担保にお預りした恩給等の支給金をもつてあてます。

◇**保証人**は一名以上。

くわしいことは沼津市八幡町九五産業会館内の国民金融公庫沼津支所にご連絡ください。

公益質屋の窓口から

市の公益質屋も昭和二十八年六月一日に開設してから満七年になり此の間一、七五一世帯の人々が利用されておりますが、最近市勢の発展に伴い、新たに転入された方で公益質屋のあることを知らずに他で高利の金を使つておられる人があるやに聞いておりますので折角市で市民の為の福利厚生施設として低利簡便に融通する機関があるのですからこれを利用されるよう改めて其の概要をお知らせ致します。

一、場所は水戸島二九九、駅南加島踏切の真ぐ西側

一、質物は衣類、身廻品、国債、装身具等ですが、自転車その他保管に困る物及び流器刀剣の類骨董品などは預りません。

一、貸付金は一口一千円、一世帯八千円が限度です。

一、利子は月三分ですが、十六日未満は一分五厘とし、なお遺族国債、引揚者給付金国債に限り一月一分五厘です。

一、流質期限は四ケ月。

一、取扱時間は毎日午前八時から午後四時まで、土曜日は午前中祝祭日日曜は休みます。

大体以上の通りですが最初の時に限り市内居住者であることの確認出来る書類（配給通帳、国民健康保険証、その他身分証明書等）と認印をお忘れなく御持参下さい。

消防団第二分団
鉄筋詰所が完成

かねてより地元消防団の宿願でありました富士市消防団第二分団の車庫および詰所がこのほど立派に完成しました。

この車庫及び詰所は総建坪九五・四四平方米の鉄筋コンクリート二階建で市立中央病院北側の新国道筋に建てられ工事費は約九十万円

（写真説明）
立派に出来上つた鉄筋コンクリート二階建の第二分団の詰所

8月常設試験場

◎運転免許の試験を受ける人たちにお知らせします。八月中における試験日および試験場は次の通りです。

日	曜	沼津試験場	静岡試験場
1	月		自動三輪・〃二輪
2	火		指定試験日（大型・普通）
3	水		軽自動車
4	木	指定試験日（小型自動四輪）	小型自動四輪
5	金	軽自動車	軽自動車
6	土	普通	指定試験日（小型自動四輪）
8	月		軽自動車
9	火		自動三輪・〃二輪・側車付自動三輪
10	水		小型自動四輪
11	木	自動三輪・〃二輪側車付自動二輪	大型・普通
12	金	小型自動四輪	軽自動車
13	土	指定試験日（軽自動車）	指定試験日（小型自動四輪）
15	月		同（大型・普通）
16	火		同（自動三輪・〃二輪・側車付二輪）
17	水		小型自動四輪
18	木	自動三輪車・自動二輪車	軽自動車
19	金	軽自動車	指定試験日（小型自動四輪）
20	土	指定試験日（小型自動四輪）	第二種免許
22	月		自動三輪・〃二輪
23	火		小型自動四輪
24	水	第二種運転許可	第二種運転許可
25	木	小型自動四輪車	大型・普通
26	金	指定試験日（小軽自動四輪）	軽自動車
29	月		指定試験日（小型自動四輪）
30	火		軽自動車
31	水		指定試験日（大型・普通）

伝説 日朗の米とぎ井戸
（公民館だより）

○……当市の岩本に日蓮宗の本山で、実相寺と云う名刹のあることは、どなたも御承知のことでしよう。この寺は、元真言宗の勅願寺で人皇七十四代鳥羽法皇により、八百年程の昔に建立された霊岳で、当時境内方一里に、四十九院五百の僧坊がむね瓦を並べ、ここに数百に余る学僧が仏教の研讃に余念がなかつた巨刹であつたのであります。

○……後年日蓮上人が鎌倉時代順々として起つた天変地異、飢饉、疫病、または内乱等の困難に際し、その由つて来る所をただし、北条幕府を諫暁せんものと、ここ実相寺を訪れ一切経蔵に入つて、七千余巻の経典を閲し、かの有名な立正安国論を脱稿し、時の執権北条時頼にこれを献じ、蒙古来襲の外寇をも予言したのであります。

○……これがかえつて禍する所となり、上人は伊豆に流され、やがては竜口において斬首の刑に処せられんとし、これに失敗した幕府は、今度は上人を北海寒山佐渡ケ島に配流することになつたのであります。然しながら、そうしたことが起因となつて、後年実相寺は一山を挙げて法華経に帰依することになり、やがて日蓮宗に改つたのであります。

○……その当初真言宗に帰属していた実相寺であつてみれば、真言亡国を叫ばれる日蓮上人に対し、いい感情を抱いていなかつたことも、自然の事であつたでしようし、一山の衆僧が上人に対し、憎悪の眼を注ぎ、折あらば迫害さえ加えんとする気配のあつた事も想像されます。

○……そうした険悪な空気を、察知した日朗は、いたく上人の身を案じわが身の危険をも忘れて、上人の御身を一心にお護りすると共に、朝夕ひそかに山の中腹流れる、小さな谷川に降り立ち、自から米をとぎ粥を炊いて、人目を忍びつつこれを上人に献じ給仕されたのであります。

○……この間における日朗の苦心は真に想像に絶するものがあり、仏天も日朗の至孝に感応しましたのでしよう。日朗が米をとがれたと云う谷川は、今はただ〝小さな浅い井戸〟と、なつて偲かにその跡をとどめていますが、不思議にも、この井戸水は白色を呈し恰も米のとぎ汁のような水を湧にたえています

○……後人、日朗の至孝を讃えて、これを「米とぎ井戸」と名ずけて、その徳を慕い偲んでいます。

○……日蓮上人の高弟の中に、日朗と云う方があつた。この人は至孝第一と讃えられた程で、常に形の形に添う如く、日蓮上人に随時しておられた方で、上人が実相寺においでの時も、見えかくれた上人の後を、お慕い申上げこの地に来られたのであります。

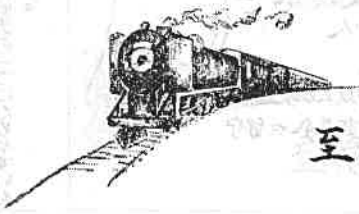
火災を発見したら
すぐ電話で「火事」と

火災を発見したときはいち早く電話で「火事」と呼んでください。

すぐ消防団本部へつないでくれます。出ましたら簡単に火災の発生場所と状況をお知らせ下さい。

富士市消防団本部営備部
電話（富士）1380番

市立富士中央病院
診療科目 内科・外科・小児科 産婦人科・眼科・皮膚科 耳鼻咽喉科・放射線科
院長 多々良満寿雄
富士市本市場 電三八五・三八六・八〇八


住民登録は
至急現住所へ
国民年金が始まると世帯主は世帯員の保険料納付義務を連帯して負わされます。住所移動の際は必ず住民登録をして下さい。